

2007 年度（第 7 回）フォーラム神奈川・並びに新エネ・アド、説明・相談会 in 横浜 盛況裏に終る！

1 月 27 日（日）横浜開港記念会館において、午前中は説明・相談会、午後は「第 7 回フォーラム神奈川」が行われた。

この日、正に寒中で、指先が凍えそうな寒さ。日中も日は射すものの寒さは厳しかった。



フォーラム会場の様子

午前の部の説明・相談会は 10 時からだが、早い人は 9 時半まえに来場。10 時の開始時間にはどっと集まり、5 分遅れで開会した。4 回目の今回は、前回の麻生区を更に上回り 40 人が参加した。

いつも通り、先ず地球温暖化の深刻さについて、太陽光発電が温暖化防止になぜ有効か、太陽光発電の現状で、世界の様子、設置費用の推移、太陽光発電の発電単価、太陽電池について等、世話人横谷公雄が説明した。引き続き、太陽光発電の設置のポイント、留意点、PV 健康診断について、トラブルや保証の問題、PV-Green については、世話人古峰聖治が説明した。最後にわが家の太陽光発電と題して世話人田辺啓平が、天候による発電データの変動などを説明、発電量によって自宅の消費電力との関係から自給率を算出、終りに何年ぐらいで設置費用を償却できるかのシミュレーションを披露した。



アドバイザー事業説明の様子

質疑では、メンテナンスの問題、屋根材による設置の問題。重量で屋根が負担にならないか、何年もつかなど、細かな点までいろいろと質問が出た。

県からの連絡によると、この日のアンケートから、NPO の対応は、90%以上がよい。期待した情報が得られなかったかの間には、えられた、まずまずえられたで85%。満足度も、満足、ある程度満足で80%など。

記述には、

- ・良い勉強になりました。
- ・役に立つ内容で参考になりました。
但し、資料に不鮮明なものがあり、鮮明なものを提供してもらいたい。
- ・頑張ってください。
- ・出来たら、地方でも計画していただきたい。私は厚木です。
- ・これからも新しい情報等の公開をお願いします。
- ・結果的に会員になりました。

などなどであったという。

午後のフォーラムは13時からで、参加者は60名、午前の説明・相談会から引き続きの方が若干名加わる。まずまずの盛況である。

講演のトップは県・環境計画課の課長、山田直子氏の「神奈川県の太陽光発電普及促進に対する取組について」と題する講演が約30分間あった。



続いては、環境省大臣官房長の小林光氏が「大きな流れとなるエコハウス」という演題で、自宅をフルコースのエコハウスとして建設したその体験から、とことんCO2削減を目指した取組について、具体的なお話があった。質疑まで約1時間、参加者を引き付けた。大変よかった、まあよかったという感想がほとんどであった。



休憩を 10 分ほどはさんで、締めくくりは、世話人の岡野庄太郎氏が「地球温暖化対策と太陽光発電 8 年間の実績」というテーマで、自分の取組の研究発表を約 40 分間行った。

午後 4 時の予定時刻を 10 分ほどオーバーした。質疑に入って 2、3 席を立つ者もいたが、最後までみなさん聞いていた。



17 時からは直ぐ近くの「味処 楽市楽座」で懇親会が 19 時過ぎまで、和やかに行われていた。(横谷記)